

スバル 車種の系譜・・・その車は、どの流れの何代目か

横＝年代（図解①と同じ目盛り）／縦＝7つの系統。1972年に四駆が入ってから、流れの多くが四駆になっていきます。

軽自動車と軽トラックは2012年ごろに自社生産を終えています。その後の年式は中身が他社の車です。

	～1920s 創業期	1930s 戦前	1940s 戦中戦後	1950s 再建	1960s 大衆化	1970s 規制	1980s 世界へ	1990s 転機	2000s 再編	2010s 立て直し	2020s 電動化
軽自動車 会社を支えた出発点				1958 スバル360 てんとう虫の愛称	1969 R-2	1972 レックス		1992 ヴィヴィオ 1998 プレオ		2012 自社生産を終了 以降は他社からの供給	2020s ステラなど ⌚
小型・乗用 背骨が生まれた流れ					1966 スバル1000 水平対向＋前輪駆動	1971 レオーネ 四駆の量産はここから		1992 インプレッサ ラリーの主役			2020s インプレッサが現行 ⌚
上級・ワゴン いまの主力							1989 レガシィ ワゴンを趣味の車に変えた	1995 アウトバック 背を上げたワゴン	2003 日本でアウトバック展開	2014 レヴォーグ 国内向けの主力	2020s 主力が継続 ⌚
SUV 世界で売れている流れ								1997 フォレスター 四駆のSUV		2010 XV	2022 クロストレックに改名 ⌚
スポーツ 会社の看板							1985 アルシオーネ	1991 SVX		2012 BRZ トヨタと共同開発 2014 WRX S4	2020s WRXが現行 ⌚
商用・軽トラ 農村を支えた流れ					1961 サンバー 四輪独立の足まわり					2012 自社生産を終了 以降は他社からの供給	2020s 供給を継続 ⌚
電動化・安全 これからの流れ									2008 アイサイト 安全のスバルを決定づけた	2018 e-BOXER	2022 ソルテラ トヨタと共同のEV ⌚

 いちばん濃い流れ

レガシィから始まる上級ワゴン。日本でワゴンが実用の車から趣味の車に変わったのは、この流れがきっかけでした。

 中古車を見るとき使い方

軽自動車とサンバーは2012年ごろに自社生産を終えています。それ以降の年式は中身が他社の車です。スバルらしさを求めるなら年式に注意してください。

 四駆かどうかを確認

同じ車種でも二輪駆動の設定がある場合があります。雪道が目的なら、その1台が四駆かどうかを必ず確認してください。